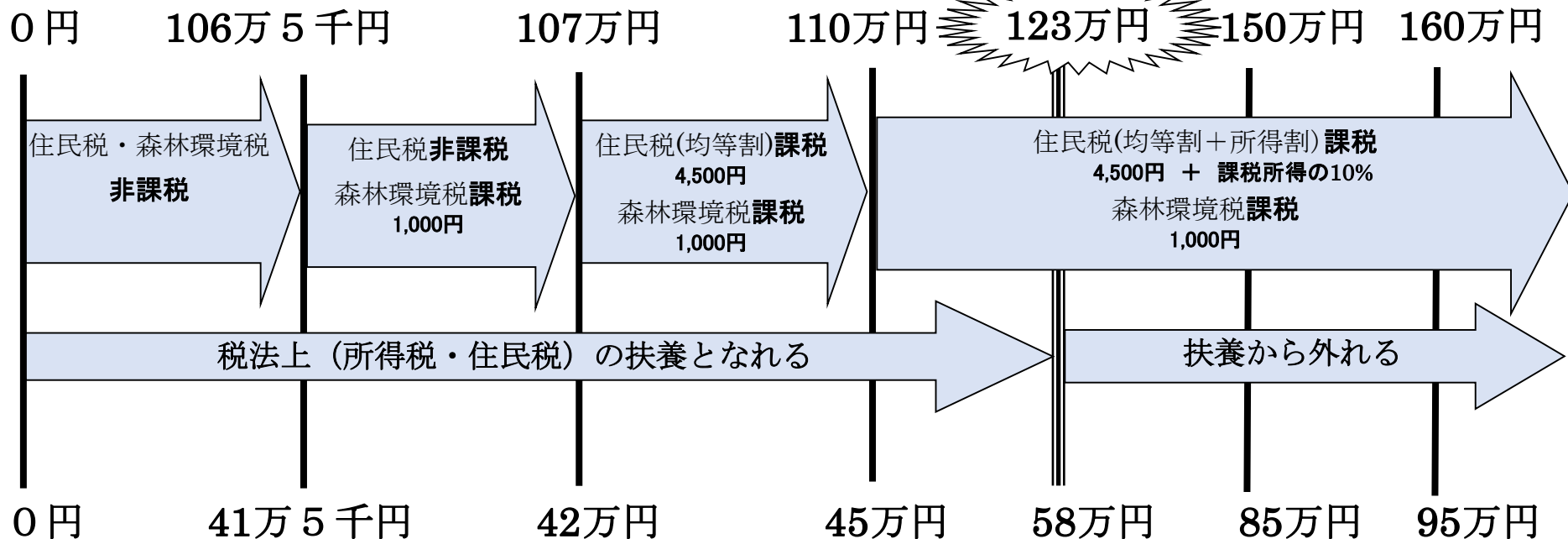


# 令和8年度：給与収入のみの場合

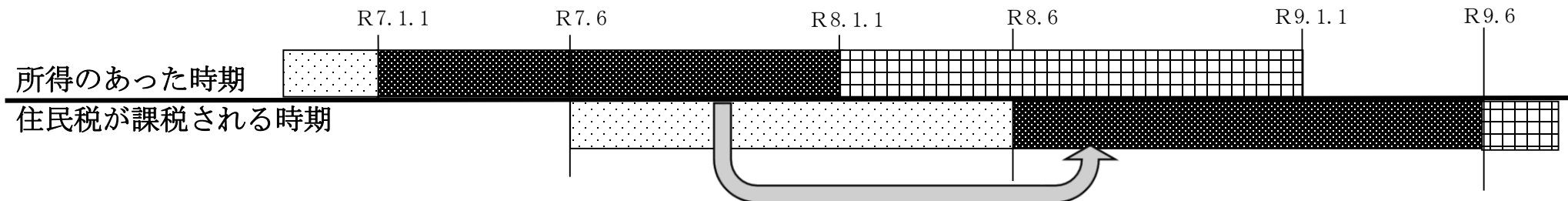
※扶養のあるかた、障がい者、ひとり親、寡婦、未成年に該当するかたは基準が異なります。

## 給与収入



## 給与所得

～扶養から外れた配偶者・特定親族(19～22歳)について～  
給与収入が123万円超～配偶者201万円・特定親族188万円以下なら、段階的に特別控除を受けられる場合があります。



令和8年度の住民税(市・県民税)は、令和7年1月1日～令和7年12月31日の所得に基づいて計算しています。(翌年課税)

# 令和8年度：年金収入のみの場合

※扶養のあるかた、障がい者、ひとり親、寡婦、未成年に該当するかたは基準が異なります。

## 65歳未満のかた（昭和36年1月2日以後生まれ）

所得税 非課税 | 所得税 課税



年金収入 0円      101万5千円      102万円      105万円      118万円      155万円

## 65歳以上のかた（昭和36年1月1日以前生まれ）

年金収入 0円      151万5千円      152万円      155万円      168万円      205万円

住民税・森林環境税  
非課税

住民税非課税  
森林環境税課税  
1,000円

住民税(均等割)課税  
4,500円  
森林環境税課税  
1,000円

住民税(均等割+所得割)課税  
4,500円 + 課税所得の10%  
森林環境税課税  
1,000円

税法上（所得税・住民税）の扶養となれる

扶養から外れる

雑所得 0円      41万5千円      42万円      45万円      58万円      95万円